

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 4 年 第 3 回 定 例 会 No. 1

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
1	喜 山 康 三	1 T P P 対 策 について	(1) T P P は 与 論 だ け で は な く、国 内 の 様 々 な 産 業 を は じ め、医 療、保 健、福 祉、運 輸、通 信 な ど、各 般 に わ た っ て 私 た ち の 生 活 に 多 大 な 悪 影 響 を 及 ぼ す 危 険 な 協 定 だ と 言 わ れ て い る が、町 長 は、基 本 的 な 対 策 を ど う 考 え て い る か。	町 長
		2 未 来 志 向 の 政 策 について	(1) 土 地 や 資 源 の 少 な い 本 町 に お い て は、農 畜 産 業、漁 業 共 に そ の 振 興 策 に は 自 ず と 制 約 も あ る が、こ れ ら の 産 業 振 興 に つ い て は ど の よ う な 未 来 志 向 の ビ ジ ョ ン を も ち、具 体 的 な 対 策 を ど う 講 じ て い く 考 え で あ る か。 (2) 観 光 産 業 の 振 興 に つ い て は ど の よ う な 未 来 志 向 の ビ ジ ョ ン を も ち、具 体 的 な 対 策 を ど う 講 じ て い く 考 え で あ る か。	町 長 町 長
		3 子 育 て 支 援 対 策 について	(1) 本 町 に お い て は、島 外 で の 出 産 に 対 す る 支 援 や 子 育 て 支 援 金 の 支 給 を 行 い、一 定 の 成 果 を 収 め て い る と 認 識 し て い る が、さ ら に 県 や 国 に 働 き 掛 け て、持 続 可 能 で 説 得 力 の あ る き め 細 や か な 子 育 て 支 援 策 を 新 た に 講 じ る こ と に よ っ て、「子 育 て の し や す い ま ち ・ 与 論 町」を 発 信 し て い く 考 え は な い か。	町 長
2	高 田 豊 繁	1 教 育 振 興 対 策 及 び 若 者 定 住 促 進 対 策 について	(1) 現 在、大 学 生 等 に 貸 与 し て い る 町 育 成 奨 学 金 月 額 3 万 円 を 増 額 し、安 心 し て 学 業 に 専 念 で き る 環 境 づ く り を 支 援 す る 考 え は な い か。 (2) 連 日、新 聞、テ レ ビ、イ ン タ ー ネ ッ ト 上 で 小 ・ 中 学 生 の い じ め 事 件 が 相 次 ぎ、国 民 は 等 し く 胸 を 痛 め て い る と ころ で あ る が、本 町 に お け る 今 後 の 対 策 を ど う 考 え て い る か。	教 育 委 員 長 教 育 委 員 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 4 年 第 3 回 定 例 会 No. 2

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
2	高 田 豊 繁		(3) 青年団活動は地域の活性化に貢献するとともに、若い男女の出会い・婚活及び異年齢交流を促進するメリットがあることから、その活動の充実の必要性が痛感されるが、活動を積極的に支援していく考えはないか。 (4) 近年の少子高齢対策、人口減対策、結婚促進対策の一環として、また、Uターンした若者の定住化を促進するため、住宅情報の提供、就業支援、結婚相談等を総合的に所管・支援する部署の設置が望まれるが、その考えはないか。	教育委員長 町 長
		2 ふるさと納税の促進対策及び燃料税の軽減対策について	(1) ふるさと納税制度への協力を全国に向けて積極的に情報発信する一方で、納税者にはクレジットカードでの支払いが可能であることに加え、マイルやポイントが貯まる利得があることを、本町のホームページ上で積極的にPRして、税収の一層の確保を図っていく考えはないか。 (2) 近年のガソリンや軽油の高騰は、町民生活や農漁業振興の圧迫要因となっているが、今後国・県に対して、離島のガソリン税、揮発油税の軽減措置を強く求めていく考えはないか。	町 長 町 長
		3 安心・安全なまちづくりの推進について	(1) 台風が大型化している傾向にある中で、停電による光回線の不通や携帯電話の不通が日常生活に大変支障を来しているが、早急に関係機関と合議し、その解決・善処を求める考えはないか。 (2) 近年、強大化しつつある大型台風と高潮の襲来により、墓地、耕地及び家屋等への被害が顕著となっている実情があるが、ハキビナ海岸と前浜海岸の防災対策を早急に講じる考えはないか。	町 長 町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 4 年 第 3 回 定 例 会 No. 3

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
3	町 俊 策	1 観 光 の 振 興 策 に つ い て	<p>(1) 民 宿 の 改 装 を 促 進 す る 観 点 か ら 、 改 装 費 用 の 一 定 額 を 超 低 金 利 で 貸 し 付 け 、 か つ 、 長 期 で の 返 済 が 可 能 な 制 度 を つ く り 、 活 用 し て も ら う 考 え は な い か 。</p> <p>(2) 食 の 魅 力 を 発 信 し て 誘 客 増 を 図 る た め 、 超 有 名 人 の 監 修 に よ る 料 理 や 弁 当 づ く り を 指 導 し 、 考 案 し て い く 取 組 を 支 援 す る 考 え は な い か 。</p> <p>(3) 食 の 提 供 を 通 じ て 島 の 食 材 を 島 外 へ P R す る 観 点 か ら 、 食 材 は で き る だ け 島 内 産 を 利 用 す る こ と で 、 そ の 宣 伝 ・ 生 産 促 進 を 図 る 考 え は な い か 。</p> <p>(4) 観 光 を オ ー ル シ ー ズ ン 化 す る た め の 施 策 の 必 要 性 が 痛 感 さ れ る が 、 ヨ ロ ン パ ナ ウ ル 王 国 立 「 海 ・ 華 族 学 院 」 (仮 称) を 設 立 し 、 気 象 学 基 礎 講 座 、 ウ イ ン ド サ ー フ ィ ン 又 は ヨ ッ ト の 操 法 講 座 、 小 型 船 舶 操 縦 士 国 家 試 験 取 得 講 座 、 ス キ ュ ー バ ダ イ ビ ン グ の 資 格 取 得 講 座 な ど を 開 設 し て 、 修 了 者 に は 「 ヨ ロ ン パ ナ ウ ル 王 国 海 ・ 華 族 」 の 称 号 を 与 え る 考 え は な い か 。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>
4	林 敏 治	1 農 業 振 興 対 策 に つ い て	<p>(1) 多 く の 農 家 に 高 齢 化 や 後 継 者 不 足 な ど の 問 題 が あ る こ と か ら 、 農 地 の 流 動 化 や 有 効 活 用 の た め 、 認 定 農 業 者 等 の 担 い 手 に 作 業 受 託 の 集 積 を 図 っ て い く 必 要 が あ る が 、 今 後 ど の よ う な 対 策 を 講 じ て い く 考 え で あ る か 。</p> <p>(2) 環 境 保 全 型 農 業 を 推 進 す る と と も に 、 特 産 品 や ブ ラ ン ド 品 の 開 発 を 推 進 し て い く 必 要 性 が 痛 感 さ れ る が 、 今 後 ど の よ う な 対 策 を 講 じ て い く 考 え で あ る か 。</p> <p>(3) キ ジ ・ カ ラ ス ・ ア フ リ カ マ イ マ イ 等 が 増 え 、 将 来 農 作 物 の 鳥 虫 被 害 の 増 加 が 予 想 さ れ る が 、 今 後 ど の よ う な 対 策 を 講 じ て い く 考 え で あ る か 。</p>	<p>町 長</p> <p>町 長</p> <p>町 長</p>

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 4 年 第 3 回 定 例 会 No. 4

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
4	林 敏 治	2 観 光 振 興 対 策 に つ い て	<p>(1) 経 済 が 循 環 す る ま ち づ く り を 進 め る た め に は、少 子 高 齢 化 や 人 口 減 少 に 対 応 し た 与 論 独 自 の 観 光 地 づ く り が 必 要 と 痛 感 す る が、町 長 は ど の よ う に 考 え て い る か。</p> <p>(2) 島 の 多 様 な 魅 力 を 生 か し た 沖 縄 と は 異 な る 与 論 独 自 の 観 光 メ ニ ュ ー と し て は、ど の よ う な も の が あ る か。</p> <p>(3) こ れ ま で に 実 施 し た 誘 客 宣 伝 イ ベ ン ト の 効 果 を ど の よ う に 認 識 し、そ の 成 果 も 踏 ま え た 上 で、今 後 南 国 ヨ ロ ン の イ メ ー ジ ア ッ プ を 図 る た め に は、ど の よ う な 島 づ く り を 進 め て い く 考 え で あ る か。</p>	町 長 町 長 町 長
		3 防 災 対 策 に つ い て	<p>(1) 本 町 で は 台 風 や 大 雨 に よ る 農 作 物 へ の 被 害 や 家 屋 の 床 下 浸 水、道 路 の 冠 水 な ど 多 く の 災 害 が あ っ た こ と か ら、今 後 早 急 な 対 策 の 必 要 性 が 痛 感 さ れ る が、ど う 進 め て い く 考 え で あ る か。</p> <p>(2) 台 風 ・ 大 雨 の 影 響 に よ り、固 定 電 話 や テ レ ビ な ど の 情 報 通 信 機 器 が 使 用 不 能 と な り、ま た、光 フ ァ イ バ を 導 入 し た メ リ ッ ト も な か っ た こ と か ら、そ の 原 因 を 追 及 し 対 策 を 講 じ る 考 え は な い か。</p> <p>(3) 台 風 時 に 防 災 行 政 無 線 の 個 別 受 信 機 に よ る 重 要 情 報 を 受 信 で き な い 地 域 が あ る が、早 急 な 改 善 の た め の 対 策 を ど う 講 じ て い く 考 え で あ る か。</p>	町 長 町 長 町 長
5	麓 才 良	1 安 心 ・ 安 全 な 防 災 の 島 づ く り に つ い て	<p>(1) 台 風 1 6 号 が も た ら し た 被 害 状 況 を ど の よ う に 分 類 ・ 分 析 し、そ の 復 旧 対 策 を 官 民 そ れ ぞ れ に お い て ど の よ う に 計 画 し、具 体 的 対 策 を ど う 講 じ て い く 考 え で あ る か。</p>	町 長

一 般 質 問 通 告 書

平成 2 4 年 第 3 回 定 例 会 No. 5

順 位	質 問 者	質 問 事 項	要 旨	答 弁 を 求 め る 者
5	麓 才 良		(2) 今回の台風はもとより、東日本大震災の教訓を受けて防災に対する町民等の関心が大変高まっていることから、安心・安全な防災の島づくりを島ぐるみで検討していくことが望まれているが、その方策をどう考えているか。	町 長
		2 文化と観光のまち興しについて	<p>(1) 島の活性化の鍵の一つは、交流人口を拡大することであり、そのためには、オンリーワンの目玉づくりが必要である。オンリーワンの目玉づくりには、住民主体の原則、地域ぐるみの原則、風土調和の原則を踏まえて、町民一人一人が、また、農業、漁業、教育、福祉などの各分野が絡み合って、島が一丸となって進むことが肝要であると認識するが、与論の海をメインとしながらも、島の風土、祭り、地質、地形等を整え、観光と結びつけたまち興し、交流人口の拡大が望まれるが、その対策をどう考えているか。</p> <p>(2) 一つの例として、ダイビング、ドラゴンフルーツ、与論献奉をオンリーワンの目玉づくりに活用する考えはないか。</p>	町 長 町 長
6	供 利 泰 伸	1 災害に強い島づくり対策について	(1) 台風常襲地帯である本町においては、暴風雨に耐えられる安心・安全な家造りの必要性が痛感されるが、本町を、鉄筋コンクリート造り家屋に対する固定資産税率を引き下げることのできる特例地区にするよう県に働き掛け、その制度化を図り、災害に強い島づくりを進める考えはないか。	町 長